

8 事業所の経営状況

- 訪問介護は、大部分の調査客体で(約7割。社会福祉法人、医療法人、営利法人。)で収支差がプラスとなっている。社会福祉協議会や地方自治体がマイナス。
- 通所介護は、地方自治体を除いた調査客体で収支差がプラスとなっている。
- 介護老人福祉施設は、すべての調査客体で収支差がプラスとなっている。

		全体	地方公共団体	社会福祉協議会	社会福祉法人	営利法人	医療法人
訪問介護	収支差	▲0.1%	▲17.0%	▲7.4%	1.6%	1.6%	2.4%
	主体別構成割合 (注1)	—	0.8%	15.1%	21.7% (注2)	40.8%	7.5%
介護老人福祉施設	収支差	13.6%	14.0% (注3)	—	13.6%	—	—
	主体別構成割合 (注1)	—	4.3%	—	95.2% (注4)	—	—
通所介護	収支差	7.2%	▲6.9%	3.9%	8.1%	8.6%	4.1%
	主体別構成割合 (注1)	—	2.3%	11.5%	57.7% (注2)	15.2%	5.3%

(注1) 調査客体に占める割合。(注2) 社協を除く。

(注3) 一部事務組合含む。(注4) 社協を含む。

(出典) 平成17年介護事業経営実態調査 調査時点: 平成17年3月の収支